

令和7年度
第2回 国営沖縄記念公園（海洋博地区）魅力向上推進協議会
＜議事要旨＞

■日時：令和8年1月14日（木）10:00～11:40

■場所：国営沖縄記念公園事務所 会議室

■議事

【熱帯ドリームセンターの愛称、キャッチコピーについて】

- 事務局案として、愛称は「美ら島植物園」キャッチコピーは「360度トロピカル体験」を提案する。
- 素晴らしい愛称だと思う。沖縄の言葉で「きれい」を表す言葉は「美ら」である。心がきれいということを「ちむじゅらさ」ともいう。ネーミングとしては非常にわかりやすい。
- 「美らしま」と濁音にならないように使った方がいい。
- イメージ図は亜熱帯らしい雰囲気が出ている。「美ら」は世界一のウチナーグチである。
- 「植物園」は少し地味だが、「美ら島」とセットとすることで、キャッチコピーが輝いて見える。
- このキャッチコピーは行政では出てこない。植物に囲まれている雰囲気が出てよい。
- 集客の多い水族館に一旦は引っ張ってもらい意味合いも込め、美ら海水族館と美ら島植物園をセットでPRしていくのは良い。
- 専門家のコメントで、「沖縄」を付けるかどうか今後検討してもよいとあるが、「美ら」＝「沖縄」というイメージが浸透しており、あえて付ける必要はないため、「沖縄」は付けない。
- 愛称は「美ら島植物園」、キャッチコピーは「360度トロピカル体験」に決定する。

【本部の食と文化フェスタについて】

- 本部町出身の女性沖縄民謡ユニット「いなぐんぐわー」のライブは、町の持つエネルギーを公園の中で発揮していくことを具現化している。
- 「シニグ」は各集落で何百年も続いているが観光客が見る機会は少ない。公園で披露することで、全国の皆さまに本部町をはじめ沖縄の伝統芸能を広めていきたい。町内に埋もれて観光客が見たことのない伝統芸能を多くの観光客に披露したいと考えており、郷土村はそのためのものであればいいと思う。
- また、郷土村という空間の中で、沖縄独自の天ぷらやおでん、伝統的な餅、お祝い事に欠かせない伝統食を全国の皆さまに提供したい。
- このようなイベントを継続的に行うことで、沖縄の文化が県内、国内、海外と伝わっていくため、郷土村が沖縄観光の位置づけとして大きく伸びてほしい。
- 現在、フライアンドクルーズインパーク協議会を立ち上げ、新しい旅のあり方を提案する取組を行っており、協議会から与論島のPRブースを出典したいとの要望があり、前向きに対応したい。本協議会からも了承をいただきたい。
- 与論町は町長、観光協会長も本部町へ何度も足を運んでいただいております非常に積極的。こ

- の機会に元々の琉球圏として一緒に輪を広げていきたい。
- フライアンドクルーズインパーク協議会について、民間企業と自治体が一体となって取り組んでいることを県庁内部にアピールしていただきたい。
 - 与論町の参加について協議会においても了承する。

【第三者による大型イベント等に係る手数料徴収（案）について】

- 公園として、第三者によるイベントを積極的に実施していただきたいが、イベントによっては運営維持管理業務の受注者が費用を持出して警備等を行っている。受注者の負担が増えないよう、警備等に掛かる実費相当額を徴収することにより、持込みイベントを増やし公園や町が盛り上がることに繋げたい。実施については、協議会での意見を踏まえ、今後内部で決定していく。
- 大変ありがたい提案。業務を受託している職員が実施する掛かり増しという形で整理していただきたい。
- 進化し移り変わる世の中に対応するため、公園を積極的かつ持続的に活用できることはとても重要であり、詳細を詰めながら内容を検討していけばよい。
- 様々なところに情報発信して、ルールに基づいてイベントを受入れできるよう対応してほしい。
- 公共性が高いイベントは、本手数料を免除するが、都市公園法に基づく占用料は引き続き徴収する。

【その他】

- 今週の土日から桜祭りがスタートする。今帰仁、名護と三大桜祭りとして本部半島が桜で盛り上がるため、皆さまにPRしていただきたい。本部、今帰仁、名護でそれぞれ特徴的な桜なので、海洋博の美ら海花まつりも含め盛り上げていきたい。
- 地域としては、観光客へサービスを提供しながら、地域の末端まで潤いをもたらさなければならない。町の皆さまが生産している農水産物を会場でPRを行い、これからのまちづくりに繋げていきたい。
- 今帰仁村では1月31日から2月8日まで今帰仁城桜まつりを予定しており、併せてよろしくお願ひしたい。